

# JFAU-12サッカーリーグ2020 in HOKKAIDO釧路地区リーグ兼 JFA第44回全日本U-12サッカー選手権大会釧路地区予選

## 開催要項

- 目的** 長期間を通じてU-12年代に適したプレー機会（ボールタッチ回数やゴール前の攻防が多い8人制のゲーム）を提供し、技術向上及び健全な心身の発育・発達を図るとともに、令和2年度JFA第44回全日本U-12サッカー選手権大会道東ブロック大会に釧路地区代表として出場するチームを決定する。
- 名称** JFAU-12サッカーリーグ2020 in HOKKAIDO 釧路地区リーグ兼JFA第44回全日本U-12サッカー選手権大会釧路地区予選
- 共催** (公財)北海道サッカー協会、釧路地区サッカー協会
- 主管** 釧路地区サッカー協会4種委員会
- 後援** 釧路市教育委員会 鶴居村教育委員会 釧路町教育委員会
- 期日** 令和2年8月2日(日)、8月8日(土)、8月9日(日)、8月15日(土)、8月23日(日)
- 会場** 釧路市民附属陸上競技場
- 参加資格**
  - ①2020年度(公財)日本サッカー協会第4種・女子に加盟登録したチーム及び選手。
  - ②Aリーグの選手エントリーは16名以内とし、Bリーグはフリーとする。  
学年構成は問わない。
  - ③本大会参加選手は、スポーツ安全協会傷害保険もしくはこれに準ずる傷害保険に加入していること。
  - ④帯同審判を2名以上帯同できるチーム。
- 競技方法**
  - ①8人制とする。  
Aリーグは12チームを3ブロックに分け1次リーグを行ったのち、決勝トーナメント及び順位トーナメントを行う。決勝トーナメントに出場するチームは各ブロック上位2チームと各ブロック3位の中から上位2チームの計8チームとする。  
Bリーグは、6チームの1回戦総当たりで行う。  
順位は、勝点(勝ち3、引き分け1、負け0)・得失点差・総得点・直接対戦の順とする。  
同結果の場合はPK方式(3名)とする。  
1つでも試合に棄権したチームは、全ての結果を0-5の負けとする。
  - ②試合時間は、A Bリーグともに30分(15分ハーフ・ハーフタイム5分)とする。
- 競技規則**
  - ①競技規則は、本年度(公財)日本サッカー協会制定の『サッカー競技規則』及び『8人制サッカー競技規則』による。
  - ②チーム構成は、指導者4名、Aリーグは選手16名以内、Bリーグは選手数フリーとする。
  - ③登録選手全員が、主審の許可を得ずに、交代ゾーンを使用して自由に交代することができる。交代して退いた競技者は、交代要員となって再び出場できる。
  - ④参加チームは試合開始前にメンバー表を提出する。  
第1試合に提出したメンバーが、本大会のエントリー選手となる。
  - ⑤本大会において退場させられた者は、次の1試合に出場できない。  
そのチームの最終試合の場合は、次のエントリー大会に持ち越す。  
ただし、該当チームは交代要員の中から競技者を補充することができる。  
1試合停止以降の処置については、本大会の規律委員会(4種事務局)で決定する。
  - ⑥リーグ本戦期間中、警告の累積が3回になった選手は、次の1試合に出場できない。  
警告の累積は、順位決定リーグに持ち越さない。  
順位決定リーグにおいては、警告の累積2回で次の1試合に出場できない。
  - ⑦ベンチが判定に対して異議を唱えたり、選手に対して、罵声などネガティブなコーチングを行い、主審から一度注意を受けた後に再度同様な行為があった場合は、主審の判断により退席処分とし、それ以降は、ベンチからのコーチングを不可とする。
  - ⑧試合球は4号球(公認球)とし、事務局で準備することを基本とする。
  - ⑨スパイクを履く場合は固定スタッドとし、レガースの着用を義務付ける。
  - ⑩ユニフォームは正・副2枚以上用意する。ユニフォームには背番号をつける。
  - ⑪ピッチサイズは68m×50mを基本とし、少年用サッカーゴールを使用する。
  - ⑫3人制審判で行う(Bリーグは状況によっては1名でも可)。
- 道東予選** Aリーグの優勝チームは、2020年9月26日(土)に中標津町で開催される、道東ブロック大会への参加を義務づける。
- 参加申込参加料** 2020年5月10日(日)までに、4種総務部長へエントリー用紙をメールで送付する。  
大会参加料 1チーム6,000円とする。
- メンバー表** プログラム用メンバー表は、7月6日(月)までに4種総務部長へメールで送付する。
- 組み合わせ** 監督会議で抽選を行う。

15. 開会式 行わない。
16. 閉会式 決勝に残った2チームにより閉会式を実施する。
17. その他
- ①本競技会は大会期間を通じて感染対策担当者を設置する。選手・チーム役員・審判員・大会運営等関係者・引率保護者・観客など会場にいる全ての者は、感染対策担当者の判断・指示等に従わなければならない。また、試合前に、各チームの感染対策担当者とのミーティングを実施する。
  - ②1つの少年団から、2チーム以上参加することを認める。  
ただし1チームにつき、基本的には2名以上の帯同審判を確保すること。  
監督は異なる指導者が務めることとし、各チームにはD級以上の資格を持つ異なる指導者が帯同することとする。
  - ③2名以上の指導者がベンチに入ること。
  - ④Aリーグは、初日に選手証の確認を行う。選手の新規追加のエントリー選手変更の際にも、選手証を確認する。
  - ⑤Aリーグのベスト4のチームは、全道フットサル選手権2020 U-12の部釧路地区予選においてブロックシードする。
  - ⑥Aリーグに出場するチームは、3級以上の審判、あるいは4級強化指定審判を1名以上帯同する。帯同できない場合は不帯同審判料を事務局に支払う。
  - ⑦道東ブロック大会には、2級審判員の帯同が義務づけられている。もし帯同できない場合は、不帯同審判料7,000円を振り込むこと。